

防災・日本再生シンポジウム



会場にて「奈良女子大学の十津川村・野迫川村での取り組みの紹介パネル」を展示しています

過疎高齢化・人口減少の進む中山間地域の復興では、単に元の状態に戻すのではなく、災害によって浮彫となった多様な地域課題への対策を含めた将来の地域像を見据えた創造的復興が求められます。紀伊半島大水害からの奈良県南部の復興と今後の新たな村づくりの展開について議論し、地元大学として奈良女子大学が担うことができる役割を考えます。

会場 十津川村役場 住民ホール

入場 無料

申込 不要、直接会場にお越しください

問合せ 奈良女子大学 研究協力課 電話：0742-20-3968

十津川村役場 地域創生推進課 鎌塚・玉置 電話：0746-62-0910

2015年10月18日(日)

13:30 ~ 16:00 (開場 12:45)

主催 国立大学法人奈良女子大学

共催 一般社団法人国立大学協会、十津川村、野迫川村



この取組は、一般社団法人国立大学協会平成27年度大学改革等シンポジウムとして開催します

奈良県南部における復興を契機とした新たな村づくりへの展開

奈良県南部における復興を契機とした新たな村づくりへの展開

プログラム

●あいさつ (13:30~13:35)

今岡春樹 (奈良女子大学長)

●取り組みの紹介 (13:35 ~ 14:55)

更谷慈禧 (十津川村長) 「紀伊半島大水害からの復旧・復興と村づくり」

角谷喜一郎 (野迫川村長) 「野迫川村、復旧から復興・創生へ」

北村辰治 (奈良県南部東部振興課長) 「奥大和で幸せな暮らしに会う (仮)」

中山 徹 (奈良女子大学) 「野迫川村での学生の取り組み」

室崎千重 (奈良女子大学) 「十津川村谷瀬地区での学生の取り組み」

..... 休憩 15分

●次世代が考える新たな村づくり (15:10 ~ 15:30)

奈良女子大学生 30 名が被災後から復興、現在の村づくりの取り組みを学び、両村の青年団と学生が今後の村づくりについて、できることや目指す姿を話し合った結果を発表します

●パネルディスカッション「新たな村づくりと大学連携」 (15:30~15:55)

取り組みの紹介を行う 5 名により、今後の新たな村づくりの展開について議論し、その中で地元大学として奈良女子大学が担える役割を考えます

●まとめ (15:55~16:00)

小路田泰直 (奈良女子大学副学長)